

南砺市総合計画後期基本計画（素案）に対して市民から提出されたご意見と市の回答について

平成 24 年 1 月 30 日

市長政策室 企画情報課

平成 23 年 12 月 22 日から平成 24 年 1 月 12 日にかけて実施いたしました「南砺市総合計画後期基本計画（素案）」に対するパブリック・コメントにつきまして、貴重なご意見をありがとうございました。

期間中に寄せられましたご意見は、6 件でした。

そのご意見を簡潔にまとめた内容と市の回答を公表いたします。

南砺市総合計画後期基本計画(素案) へのパブリックコメントについて

- ・内 容 南砺市総合計画を後期5年間(平成24年度～平成28年度)に向けて見直し、後期基本計画(素案)へ市民から広く御意見をお聞きする。
- ・募集期間 平成23年12月22日(木)
～平成24年1月12日(木)
- ・募集方法 市報なんと1月号、ホームページ、情報公開コーナー
- ・寄せられた御意見
6件(メール3件、郵送1件、持参1件、FAX1件)
- ・公表方法 ホームページ、情報公開コーナー

●南砺市総合計画後期基本計画(素案)へのパブリックコメントと市の回答一覧表

受付番号	施策の柱	枝番号	意見(簡潔にまとめました)	市の回答	
①	消防・防災体制の充実	1	防災無線のデジタル化推進 → 防災行政無線のデジタル化による高度化・高機能化の推進へ修正する。	ご意見を基に、「防災行政無線のデジタル化による高度化・高機能化の推進」に 修正いたします。	
		2	「地域防災力」の強化に向けた活動の支援 → 「地域防災力」の強化に向けて行う活動への支援へ修正する。	ご意見を基に、次のように 修正いたします。 「…、「地域防災力」の強化に向けて多くの市民が参加する防火・防災の学習・訓練活動への支援が求められています。」	
		3	指標 → 「同報系デジタル防災行政無線の聴取可能世帯の割合」を追加する。	防災行政無線は、現在アナログで運用中であり、デジタル化に向けた協議を進めています。指標については、聴取可能世帯の定義が不明確であると考えます。	
		商業の振興・工業の振興と企業誘致・雇用の確保と創出	4	これら3つの施策の柱には、相互に密接に関係する「指標」がある。このうち2項目の目標値が現在より減少するのに、残り1項目の目標値が好転するとは考えにくいため見直しが必要である。	商業の振興の指標と工業の振興の指標は、これまでの減少率を勘案して設定しました。一方、雇用確保の指標である完全失業率は、ハローワーク砺波管内の指標であり、リーマンショック以降の雇用状況等の要素や動向も含めて目標数値としています。これらは、関連する指標ですが、連動するものではないと考えています。
	情報化の推進	5	ユビキタス社会 → 「デジタルデバイドの解消(又は克服)」に修正する。	ここでは広義な定義にしたいと考えています。そこで、「ユビキタス社会」を「ユビキタス社会への対応」に 修正いたします。	
		6	主な事業 → 「自動交付機の設置場所の見直し」を追加する。	自動交付機は、今後コンビニ交付へと段階的に移行することにより市民の利便性の向上を図りたいと考えています。それに伴い自動交付機を徐々に減らす方針です。	
		7	「新たなシステムの導入による効率的な行政の推進」 → 「市民の利便性の向上」を追加する。	ご意見を基に、「新たなシステムの導入による効率的な行政の推進と市民の利便性の向上」に 修正いたします。	
		8	主な事業 → 「エリアワンセグによる防災・行政情報等の提供」を追加する。	ご意見を基に、「エリアワンセグなどの新たなICT利活用による防災・行政情報等の提供」を 追加いたします。	
②	工業の振興と企業誘致	1	施策の展開 → 「企業誘致体制の強化」を追加する。	「企業誘致体制の強化」は、「立地条件を活かした企業誘致活動の展開」を進めていくための前提条件として含まれていると考えます。また、目標数値のうち、製造品出荷額は、景気の変動による影響が大きく、過去の平均値から設定し、新規立地企業数は、長期に渡る誘致活動が必要なことを勘案し設定しています。	
	道路交通ネットワークの充実	2	新規道路を整備するより既存道路の改良を進めることで、市民の安心、安全を確保することを優先すればどうか。新規の整備は、早期に事業効果が発揮できる道路に限る。	道路整備は、既存道路の改良を中心に行っています。そのうち、幹線道路については歩道設置、生活道路については大型機械で除雪が可能となるよう拡幅に取り組んでいます。また、新規道路については、企業誘致、スマートインターチェンジ、学校・保育園統合、消防署所再編に関する道路や都市計画道路を計画的に整備していきます。 厳しい財政状況の中、コスト縮減に努めながら早期完成により事業効果が上がるよう集中投資を行い、緊急度、優先度を考慮しながらも交通安全対策を中心に整備を行なうこととし、基本計画に盛り込みました。また、横断歩道や信号機は、富山県公安委員会等の関係機関と設置に向けて協議しています。	
	良質な住宅・宅地の供給	3	人口減少が著しいのに公営住宅の新規供給は必要か、入居率が確保できるのか。企業誘致などを進め、公営住宅の新規供給は抑制すべき。ただ、既存住宅の高度化は進めるべき。	公営住宅は、住宅に困窮している低額所得者や高齢者等に対し住宅を供給することが整備の目的です。公営住宅の新規供給は、入居状況等を見極めて進めたいと考えています。 また、基本計画に「公営住宅等長寿命化計画」を盛り込み、市営住宅の修繕や改修など既存住宅の有効利用を進めます。	
	森林・林業の振興	4	間伐材の活用を追及すべきと思う。不要物も有効な資源となるのではないか。	未利用間伐材の利用促進に繋がる木質ペレットの利用は、基本計画の「循環型環境社会の構築」の「バイオマスタウン構想の推進」の中で取り組むこととし、「木質ペレット利用量」という指標を設定しています。ご意見をいただき、見やすいように関連施策を 追加いたします。	
	商業の振興	5	市内で買い物をするのは、食料品などで高齢者が中心。年間販売額は減少の一途である。これまでと違ったアプローチを提案する。	基本計画に盛り込んでおります「魅力的な商店街の形成」や「買い物弱者対策への支援」の中で、ご提案いただいたことを含め取り組みます。	
	観光の振興	6	観光を滞在型に切り替えるための観光資源の活用と全国に情報を届ける情報発信の仕方を更に工夫する必要がある。公費を入れるイベントの必要性、採算性、費用対効果等を考慮する。	南砺里山博等を通じて地域資源の発掘とブラッシュアップを行い、滞在型の観光資源として活用すること、ソーシャルネットワークサービスを積極的に活用した効果的な情報発信を行うことを基本計画に盛り込んでいます。また、イベント主催者へのヒアリングやモニタリング等を実施しており、観光イベントとしての意義や必要性を引き続き検討いたします。	
③	全般	1	一部ではなく施策全体に横断的な動きができるような指針を盛り込む。	基本計画中の「関連施策」の記載がある施策のみならず、実施にあたっては部局を越えた連携を行いながら、より市民目線に立った施策の実施に努めます。予算編成時には横断的な検討を加え、また庁議などで情報共有に努めています。	
	全般	2	BCP(業務継続計画)の整備を盛り込む。	市は、災害など不測の事態が起こった場合、市民の安全確保、被災者支援、市民活動復旧に向けて重要な責務を担っており、活動を停滞することがないように、また早期の復旧を可能とするよう、平常時から備えが必要であり、基本計画に盛り込んでおります「地域防災計画」の中で対応していくことと考えます。	
	良質な住宅・宅地の供給	3	単身者向けの住宅がないので、Iターン、Uターン者がテスト的に住める場を提供する。空き家を単身者、企業化の支援に向けて大規模改修をする。	単身者向けに空き家を市で取得するには、大きな経費が嵩むことが考えられますので、基本計画の「定住化の推進」に盛り込んでいますように、定住に関する情報の発信の一環として、空家を利活用した定住促進や起業家支援が進むよう空き家情報の収集や情報の提供の充実に努め、民間事業者の取り組みへも支援するなど充実した形の展開を考えています。	

受付番号	施策の柱	枝番号	意見(簡潔にまとめました)	市の回答
	生涯学習の推進	4	各種生涯学習講座を引き続き実施するには、必ずしも現状の形でなく、参加数の変化・確認、運営の制約など、制度修正が必要である。	市民大学講座では、自然・歴史・文化を中心とした教養講座を、学遊塾では市民から企画・講師を募集した講座を、高齢者対象には高齢者大学を開催しており、受講者にアンケートを実施するなど市民の要望の把握に努めています。今後も、より市民目線に立った取り組みにより、参加していただきやすい事業を検討いたします。
		5	公民館職員は、指導者というよりコーディネーター的な立場となり、市民の主体的参画が望まれるので、市民サポーターなどの人材育成が必要である。	ご意見を基に、公民館職員の「指導力向上」を「資質の向上」に 修正いたします。
		6	図書館は、「現状と課題」に蔵書を増やす記載はあるが「施策の展開」に記載がない。また、地域の文化歴史・産業など、地域振興施策との連携までビジョンを広げてはどうか。	ご意見を基に、「図書館の蔵書の充実とレファレンスサービスの向上」を 追加いたします。
	芸術文化活動の振興	7	福光美術館の入場者数が半減している現状を分析しないままに税金をかける方針に異を唱える。人材育成や市民基点の企画の創出のような抜本的な施策に方針変更を行う。	福光美術館は、世界的版画家「棟方志功」と日本を代表する花鳥画家「石崎光瑠」の作品収集と展示を基本に運営しています。指標の入場者数は、基準年にあたる平成17年度は有名タレントの作品展という特別の理由で3万人を超えましたが、近年は「南砺の至宝展」など本市に密着した斬新な展覧会を開催するなど、企画展の回数を減らしながらも一定数を確保しています。今後も、ご意見のように学芸員の力を高め、市民が魅力を感じる企画展の開催に努めます。
	商業の振興	8	伝統産業事業所数の定義へ、蒔絵、福光焼、城端仏壇など含めることはできないか、また、市として認定できないか。	伝統産業は、国指定を受けているものとしています。市の認定制度はありませんが、ご意見のように指定以外の伝統的産業も地域資源として普及していくべきであると考えています。
	観光の振興	9	来訪者の満足度を高め、リピートしていただくため、一流のもてなしが必要であり、人材育成が急務である。また、「施策の展開」が情報発信にとどまっており、観光産業に携わる人材への投資・支援策を含める改善と地位向上を目指してほしい。	ご意見を基に、「人材育成の強化」を 追加いたします。
10		「指標」には、入り込み数や市民の割合といった定量的なもの他に、観光産業従事者による意識向上の指標など盛り込むべきである。	観光のニーズやスタイルが多様化し、観光産業そのものも変化するため、施策の達成率を評価するための指標としては、定量的なものにならざるを得ないと考えます。	
	雇用の確保と創出	11	「指標」は、全国の情勢にも左右されると思われるため、「全国平均値の●ポイント上」といった目標値にしてはどうか。	指標は、ハローワーク砺波管内の数値を用いています。県や国の指標は別途データを把握し、活用しています。
	定住化の推進	12	「現状と課題」は、情報を集約するため空き家主の理解促進、的確なターゲットへの情報発信だと思う。	基本計画に盛り込んでいます「定住に関する情報の発信」の中で、ご提案いただいたことを含め取り組みます。
13		「施策の展開」は、宅地造成事業だけでなく、空き家の活用なども盛り込むべきである。	空き家の活用は大変有効な施策ですが、行政が空き家を借り受け定住化に結びつけるのか、情報提供をし、貸主と借主との調整を図るのかにより、事業の進め方が異なります。基本計画に盛り込んでいます「定住に関する情報の発信」の中で取り組みます。	
	効果的で効率的な行政経営	14	「現状と課題」に行政評価への記述があるが、「施策の展開」に盛り込まれておらず、「市民評価制度」を策定して運用を行うべきである。	「行政改革の推進」の主な事業に「行政評価システムの活用(施策・事務事業評価の実施)」を盛り込んでいます。施策評価、事務事業評価ともに内部での評価を本格実施・定着させた後、次の段階として外部・第三者評価(市民評価)に取り組みます。
15		協働事業による業務効率化も効率的な行政経営の施策として盛り込むべきである。	協働が目指していることは、市民が主役のまちづくりによって複雑化する地域の課題に的確かつ柔軟に対応することです。協働事業によって業務が効率化されることは、目的や手段ではなく、副次的な効果として捉えています。	
④	商業の振興	1	人口流出を防ぐためショッピングモール(エリア)を作ってはどうか。地元商店への影響もあるが、商業施設がくると雇用創出もあり、いい盛り上がりにつながるのではないか。	ショッピングモールは活性化への効果も大きいと思います。今後、市内に進出したいという話が出てくれば商工会等関係機関と協議、検討する必要があると考えます。
⑤	医療体制の充実	1	現在2院ある公立病院を、1つは救急があり、産科など診療科を充実し、優秀な医師のいる総合病院に、もう1つは低額料金の公立ケアハウスにして、施設の有効利用、経営健全化に役立つ。	広大な市域をもち、高齢化が進む南砺市では、身近な医療機関が不可欠であり2病院4診療所の体制を維持していきます。ただ、ご意見のように、高額な機器等の重複等を極力排して健全経営を目指す意味からも、病院間の機能分化を進めます。
⑥	全般	1	南砺市の宝である旧町名を尊重し生かすことを計画の中で触れることを提案する。市民や出身者、観光客、企業にとり物心両面で有益であるため公共の利益につながる。	旧町村名問題につきましては、これまで行ったアンケート結果により、現段階では現状維持が妥当と判断させていただいています。